

みんなで一緒に創る「元気な鹿児島」

【みたぞのさとしの政治姿勢】

知事就任以来、「県民が主役の県政」を実現したい、県民の生活を少しでも良くしたいという思いで取り組んでまいりました。

子育て支援と高齢者の生き生き支援を重点施策の2本柱として、毎年度、過去最大規模の予算を組んで、積極的に、重点的に取り組みを進めてまいりました。

「子育てがしやすくなったと感じる人の割合」が、およそ3倍と大きく増加し、高齢者の社会参加に対するポイント制度の拡充など、健康寿命を延ばす施策についても積極的に取り組んでまいりました。

本県が有する多彩な魅力や強み「ポテンシャル」を生かす観光や農林水産業、医療・福祉、教育、産業・雇用などの様々な施策に加え、県民の安心・安全を守る防災対策などにも取り組んできました。

農業産出額が念願であった全国第二位となり、県産農林水産物の輸出額も過去最高記録を続けています。平成30年には延べ宿泊数、外国人延べ宿泊数、観光消費額が過去最高を記録しました。

経済成長や県勢の発展に資する施策を積極的に展開するとともに、子どもからお年寄りまで全ての県民が、県内どこに住んでいても明るい展望を持って安心して暮らせるような社会を築くことで、元気な鹿児島どこよりも幸せを実感できる鹿児島を実現し、更なる県民福祉の向上につなげていくという好循環をつくってまいりたいと考えております。

これからも、県民の皆様のお声一つ一つを大事にし、県民の皆様寄り添い、県民と心をつなげて、県民とともにあゆみ、県民の県民による県民のための政治を実現するため、「生まれてよかった、住んでよかった」そう思える「元気な鹿児島」を創るため、「け死んかぎい」取り組んでまいります。

【新型コロナウイルス感染症について】

世界的に流行した新型コロナウイルス感染症については、県民生活・県経済に大きな影響が及び、これまでに経験したことがない非常に厳しい状況になっております。

このような中、手洗い、咳エチケットなど感染拡大防止に御協力をいただいている県民の皆様、現場の最前線で献身的に努力をしていただいている医療関係者の皆様、日々感染防止にご尽力いただいている社会福祉施設、学校、保育所等の関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

私は、これまで、県民の安心・安全を守るため、専門家や医療関係者、商工業者、教育関係者など様々な方々から意見を伺うとともに、連携を図りつつ、感染拡大防止や生活支援にあらゆる施策を総動員して、危機感とスピード感を持って、全力で取り組んできました。

そして、現在は、感染症発生に最大限の注意を払いつつ、大きな打撃を受けた本県経済の回復に向けて、全力で取り組んでいるところです。

感染症対策として、医療機関の設備整備の支援、遠隔医療実施のための機器整備の支援、特別支援学校における感染症対策支援、侵入防止のための離島などにおける水際対策の強化などに取り組んでいます。

経済対策として、中小企業、個人事業者、フリーランス、ひとり親家庭など、収入が減少した方々の事業資金、生活資金、家賃などの支援や、デリバリー参入やWEB販売など県産品の新たな需要創出への取り組みを行うなど、きめ細やかな対応に全力を挙げております。

観光・消費喚起対策については、まずは、県内向け観光キャンペーンや消費拡大のためのクーポン発行などの対策から取り組み、全国や世界における感染症に係る状況に応じて、各種キャンペーンを拡大させ、最終的にはオール鹿児島で国内外から多くの観光客を安心してお迎えし、にぎわう状態になるよう、いくつかのステップを経ながら、機動的に取り組んでまいります。

今後とも、新型コロナウイルスの影響で困っている方々が日常を取り戻すために、また、農林水産業、商工業をはじめとする各種産業に支えられている鹿児島県経済の復興のために、さらには、感染症発生以前にも増してふるさと鹿児島が活性化するように、できる施策すべてに取り組んでまいります。

また、今回の経験を生かし、長期的な視点に立ち、新たな感染症の流行が発生した際に、県民の皆様への影響を最小限に食い止められるよう、これまでの対応について検証を行った上で、感染拡大防止対策の充実・強化と新たな社会経済構造の構築を図るため、「コロナからの復興プラン(仮称)」を策定して取り組んでまいります。

なお、今回お示しする各般の施策については、社会情勢における新型コロナウイルス感染症に係る状況を踏まえながら、加速すべきもの、段階的に取り組むべきものを峻別しながら弾力的かつ的確に取り組んでまいります。

0 新型コロナウイルスから復興し発展する鹿児島

0 新型コロナウイルスから復興し、その先、発展を続ける鹿児島の実現を目指すため、次の3つを柱とした「コロナからの復興プラン(仮称)」を策定・実行します。

- ① 第2波、第3波の発生による感染拡大防止を図るため、新たな生活様式の定着を促進するとともに、感染者の早期発見、円滑で安全に治療できる検査体制や医療提供体制を構築する。
- ② 感染症流行により大きな影響を受けた、県民生活・県経済の復興を図るため、生活や事業で困窮している方々を支援するとともに、感染症の状況に応じた消費喚起を促す施策を段階的に拡大して展開する。
- ③ 様々な危機事象に直面しても、影響を最小限にとどめ、持続的に発展できる鹿児島の実現を図るため、医療・福祉・教育でのICTの活用、AI・Iotを活用した産業の推進など、人・もの・情報が簡易かつ迅速につながって、質の高い生活や仕事ができる社会「Society5.0」の実現に向けて加速する。

「コロナからの復興プラン(仮称)」を策定し、実行することにより、現在の極めて厳しい状況からの早急な復興を図り、さらには、発展を続けていける社会、県民一人ひとりが県内のどの地域に住んでいても、安心していきいきと暮らせる「力強い鹿児島」を目指します。

I 人が輝きいきいきと活躍できる鹿児島

- 1 高齢者の方々が、住み慣れた地域で健やかにいきいきと生活できるよう、ロコモ・フレイル予防など健康づくり活動を展開するとともに、社会参加活動で高齢者がポイントもらえる制度を更に普及するなど、地域で活躍できる取り組みを推進します。
- 2 認知症サポーターを養成するなど、正しい理解の普及啓発を進め、認知症の方や家族にやさしい地域づくりを進めます。
- 3 関係機関・団体と連携して、介護人材の育成・確保・定着に向けた取り組みを進めます。
- 4 県内の女性社長は着実に増加しており、女性がいきいきと輝き活躍できる環境づくりを更に進めるため、女性活躍の推進に取り組む企業の表彰やキャリア形成の支援、男性の育児・介護等への参加促進、経済団体の女性組織との意見交換に取り組みます。
- 5 県庁内に新たに設置する「障害者が安心して暮らせる鹿児島づくり推進本部」を中心として、地域の意見を生かして、障害福祉サービス等の提供体制整備を推進するとともに、雇用環境の整備・雇用機会の確保を図りながら、障害者が個性と能力を発揮して社会参加が進むよう努めます。
- 6 「障害のある人もない人も共に生きる鹿児島づくり条例」の普及啓発、誰もが生活しやすいバリアフリー化の推進に取り組み、障害者の方々の人権と個性が尊重される社会づくりを進めます。
- 7 「かごしま県民手話言語条例」の普及啓発を進め、手話の普及等に関する施策を総合的に推進します。
- 8 難病患者の相談支援を行い、安定した療養生活の確保と生活の質の向上を図ります。
- 9 様々な課題を抱え生活に困窮している方々に、それぞれの状況に応じて就労や家計管理、子どもの学習等の支援を行い、自立への応援に取り組みます。
- 10 アジアを中心とした外国人の方々が、県民と一緒に鹿児島を愛し、地域の経済・文化活動を支える人財として活躍できるよう努めます。

II 人が地域を創る、文化が薫る、スポーツが盛んな鹿児島

- 11 児童生徒の学力向上に向けた取り組みを充実するとともに、深い学びの視点を取り入れた授業により、確かな学力の定着を図ります。
- 12 ICTを活用した教育環境の整備を進め、高度情報化社会にも対応する能力の向上と学習活動の充実を図ります。
- 13 特別支援学校における施設やICT環境の整備をより一層推進し、障害の状態等に応じた学習活動の充実を図ります。また、児童生徒の通学環境の改善に努めます。
- 14 地域ぐるみで支える家庭教育の推進を図るため、家庭教育を支援する人材の養成や広報・啓発に取り組みます。
- 15 高校生の未来をサポートするスタッフを配置し、県内求人の情報収集や進路相談、インターンシップ等を通じて、キャリア教育の充実を図ります。
- 16 明治維新150年を契機に創設した「かごしま青年塾」により、次世代の鹿児島をリードする人材を育成します。
- 17 将来の鹿児島を支える人材育成の場となるよう、魅力ある県立短期大学づくりを進めます。
- 18 高等教育機関と連携して、鹿児島の地域資源を活用した教育を行うなど、県内高等教育機関の魅力向上に取り組みます。
- 19 身近に文化芸術に触れることができ、自らが文化芸術の創造活動にも取り組めるような環境づくりを図ります。
- 20 石造建築として県内で2番目に古い旧考古資料館について、立地や文化財としての特徴を生かし有効活用を図ります。
- 21 令和3年度の「地域伝統芸能祭全国大会」や令和5年度の文化版インターハイ「全国高等学校総合文化祭鹿児島大会」において、鹿児島の多様で個性ある文化を発信します。
- 22 鹿児島県歴史・美術センターとなった黎明館や官民一体となって整備した御楼門などのある歴史・文化ゾーンにおいて、各施設との連携や観光面での活用を図り、更なる「にぎわい」を創出する拠点として展開していきます。
- 23 延期された鹿児島国体での天皇杯獲得を目指し、スポーツの振興を図るとともに、国体・全国障害者スポーツ大会をオール鹿児島による「おもてなし」で盛り上げ、たく

さんの鹿児島ファンを生み出します。

- 24 サッカー等スタジアムの整備については、今後さらに円滑な連携を図るため、県と市の意見交換の場を設け、オール鹿児島で実現に向けて取り組みます。
- 25 新たな総合体育館については、今後とも早期整備が実現できるよう丁寧に進めていきます。
- 26 県内プロスポーツチームへの支援を継続するとともに、県外のプロスポーツのキャンプや公式戦の誘致に努めます。
- 27 鹿児島県グラウンド・ゴルフ大会の開催を通じて、県民がスポーツに親しむ機会の創出、健康寿命の延伸を図ります。

Ⅲ 安心して子育てできる鹿児島

- 28 3倍に増えた「子育てがしやすくなった」という方々が、更に増加するよう、「子育て支援」には、県政の2本柱の一つとして積極的に取り組んでいきます。
- 29 結婚を希望する方々の実現をサポートするため、出会いの機会を創出します。
- 30 安心して妊娠・出産・子育てができるよう、高度な周産期医療や地域における産科・小児科医の充実・確保に努めます。
- 31 経済的な理由から受診を控え、重症化することを防ぐため、子供の医療費給付制度については、所得税非課税世帯の高校生まで窓口負担をなくした上で、更なる制度の拡充を目指します。
- 32 認定こども園等の整備や保育士の処遇改善・研修等を通じて、働き続けることができる職場環境づくりと保育の受け皿づくりを進めます。
- 33 子ども食堂の更なる普及を図るため、新規開設時の助成、高齢者の参加促進、活動の周知・啓発など、総合的に支援します。
- 34 児童虐待の発生防止や早期発見を図るため、児童相談所における相談体制の充実・強化や関係機関とのネットワーク強化に取り組みます。
- 35 子どもたちが家庭の経済的状況等にかかわらず、それぞれの夢に向かって希望を持ちながら挑戦できる環境をつくるため、教育にかかる負担の軽減、ひとり親家庭の就業支援などに取り組みます。

IV 健康でいきいき生活できる鹿児島

- 36 年を重ねることは素晴らしいことだと感じる方々が増えるよう「高齢者いきいき支援」には、県政の2本柱の一つとして積極的に取り組んでいきます。
- 37 市町村や事業所等と連携して、青壮年期から高齢者までを対象にロコモ・フレイル予防に取り組めます。
- 38 高齢者等が住み慣れた地域で、安心して様々な支援が受けられるよう、市町村、医療機関、福祉施設、介護・看護事業者など多様な主体が連携した地域包括ケアシステムの構築に取り組めます。
- 39 特定健康診査・特定保健指導を促進するとともに、歯周病予防や医科歯科連携を進め、脳卒中など生活習慣病の予防に取り組めます。
- 40 がん予防や早期発見・早期治療のため、検診の受診率向上などの取り組みを推進するとともに、がん医療提供体制の整備に努めます。
- 41 県内どこでも安心して医療を受けられるよう、地域医療を支える医師や看護師など医療従事者の確保を図り、離島・へき地医療、救急医療などの提供体制の確保に努めます。
- 42 鹿児島大学地域枠医師などを活用して、地域医療を担う医師の育成・確保を図ります。
- 43 看護職員については、「看護職員確保戦略(仮称)」を策定し、県内就業、離職防止、再就業の促進など、戦略的な確保に取り組めます。
- 44 へき地医療の充実を図るため、へき地診療所における遠隔医療支援システムの整備を支援します。
- 45 診療科の拡大などにより機能を充実させた、新たな県立薩南病院の整備を進めます。

V 自然と共に生きる鹿児島

- 46 奄美の世界自然遺産登録の実現を見据えて、奄美トレイルの推進やICTを活用した生態系の保全、国内外への情報発信に取り組むとともに、「奄美自然観察の森」をリニューアルします。
- 47 森林・林業の学習や体験活動を支援し、県民みんなで森林を守り育てる機運を醸成します。

- 48 豊かな森林を将来の子ども達に引き継ぐため、再生林や間伐など、森林整備に努めます。
- 49 新たに策定した再生可能エネルギー導入ビジョンに基づき、本県の多様で豊かな自然を活用して、再生可能エネルギー導入を進め、「エネルギーパークかごしま」を目指します。
- 50 CO₂ を排出しない次世代のエネルギーといわれる水素エネルギーが利活用される「水素社会」の到来を見据えて、燃料電池自動車の県内への普及拡大を図るため、導入の支援に取り組みます。
- 51 海岸漂着物等の回収や不法投棄パトロールを行うほか、マイバッグキャンペーンを展開するなど、プラスチックごみの排出抑制に努めます。
- 52 屋久島において、CO₂ の発生が抑制された先進的な地域づくりを促進し、モデル性や発信性の高い取り組みを進めます。
- 53 循環型社会の形成を図るため、産業廃棄物のリサイクルを推進するとともに、処理施設の整備を促進します。

VI 安心・安全に生活できる鹿児島

- 54 自助・共助・公助による地域防災力の強化を図るため、総合防災訓練や研修の実施、防災行政無線の再整備、消防団への加入促進に取り組みます。
- 55 県民の安心・安全を守り、防災・減災対策を推進するため、河川の寄り洲除去や治山・砂防施設、災害発生時に必要な道路などの整備を進めます。
- 56 橋梁やトンネルなどの老朽化対策として、計画的な点検・補修を行い、安全な道路施設として長寿命化を図ります。
- 57 ゲリラ豪雨などによる浸水被害に対応するため、河川の抜本的な改修を進めます。
- 58 川内原発については、新たに設置した専門家の委員会により、特別点検の結果などの確認や安全向上対策、避難計画や原子力防災訓練の見直し、安定ヨウ素剤の配布など、諸問題について専門的見地から意見をいただきながら、防災対策の充実・強化に取り組んでおり、引き続き、県民の安全・安心の確保のため全力で取り組みます。
- 59 本県の多様で豊かな資源を活用し、再生可能エネルギーの導入を推進すること

で、原発に頼らない社会づくりに向けた歩みを少しずつ進めていきます。

- 60 性暴力犯罪被害者サポートネットワークかごしま(通称:FLOWER)の相談拠点における対応支援や性犯罪被害者の医療費の支援を実施します。
- 61 児童生徒をはじめ、交通弱者の安全を図るため、通学路の道路整備を行うとともに、区画線等の路面表示の補修などに取り組みます。
- 62 新型コロナウイルスなどの感染症の流行に備え、新たな生活様式の定着を図るとともに、関係機関と連携して、検査体制の充実、重症者から軽症者まで円滑に治療できる医療提供体制の構築に取り組みます。
- 63 災害時の避難所における新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、新たに策定した指針を周知徹底し、市町村の安全な避難所運営を促進します。
- 64 悪性の家畜伝染病発生に備え、関係者が連携して防疫に係る演習を実施するとともに、必要な資材を整備します。

VII 地域が潤い世界につながる鹿児島

- 65 東九州自動車道、南九州西回り自動車道や北薩横断道路、都城志布志道路、大隅縦貫道など、県内外の地域間を結ぶ幹線道路ネットワークの整備を推進します。
- 66 国道226号など、観光や生活面で課題となっている道路について、利便性の向上に向けて努力していきます。(南薩横断道路、伊作峠トンネルなど)
- 67 地域における住民生活に必要な生活密着道路の改善に努めます。
- 68 マリンポートかごしまにおいて、大型クルーズ船への対応や受入体制に整備を行うとともに、臨港道路の整備を推進し、物流・人流の活発化を図ります。
- 69 志布志港、川内港においては、国際的な物流の拠点として機能向上を図るとともに、志布志港については、国際バルク戦略港湾としての整備を推進します。
- 70 錦江湾横断交通ネットワークは、交流人口の拡大や物流の利便性の向上、薩摩・大隅両半島の一体化による県全体の発展が期待されるため、様々な課題を乗り越えるべく最大限努力していきます。
- 71 指宿スカイラインについては、Ⅱ期区間を一律上限100円に引き下げました。今後、法面対策など必要な整備を行った上で無料化します。
- 72 「日本の南の先進的グローバル拠点空港」を目指して、鹿児島空港の機能強化を図ります。

- 73 屋久島空港については、ジェット機が就航できるよう、滑走路延伸の事業化に向けて積極的に取り組みます。
- 74 肥薩おれんじ鉄道や在来線鉄道は、旅行商品の造成などの誘客対策を支援するなど、事業者や沿線自治体と連携して利用促進と維持・存続に努めます。
- 75 街路や歩道等の整備を進めるなど、魅力ある景観に包まれた街の形成を図ります。
- 76 高速ブロードバンドの基盤となる光ファイバの未整備地域の解消に努めます。

VIII 個性ある離島・地域の魅力が輝く鹿児島

- 77 中山間地域等において、集落の活性化に協働で取り組む地域リーダーの育成や暮らしを支え合う仕組みづくりを支援するとともに、多様な地域の資源を生かした新たな地域づくり活動が県内各地で展開されるよう努めます。
- 78 野生鳥獣による農作物の被害を防止・軽減するとともに、ジビエの有効活用を促進します。
- 79 都市圏における移住に関する情報発信やグリーンツーリズム、ブルーツーリズム、ふるさとワーキングホリデー、空き家活用などの取り組みを支援し、移住・交流人口や関係人口の拡大を図ります。
- 80 街づくりの核として、商店街における多様な主体が連携した取り組み、新しい取り組みを支援し、商店街の活性化を図ります。
- 81 離島住民の生活を守るため、保健医療供給体制、交通・情報などの基盤整備を進めるとともに、本土との航路・航空路運賃や農林水産物の輸送コストの低減を行い、住民の負担低減や利便性の向上を図ります。
- 82 奄美・沖縄の世界自然遺産登録も見据え、多様な魅力がある離島間を周遊する観光客の誘致に取り組みます。
- 83 日本で唯一のロケット打ち上げ施設の立地を生かして、関連産業や観光の振興、青少年への教育など、本県でしかできない地域振興を図ります。
- 84 地域の多様な主体が、地域の課題をビジネスの手法を活用して解決するソーシャルビジネス(コミュニティビジネス)などの取り組みを支援します。

IX 人・モノ・情報が活発に行き交う鹿児島

- 85 「コロナからの鹿児島観光復興戦略(仮称)」を策定し、県内、国内、国外へと段階的かつ戦略的にキャンペーンの展開を拡大し、観光業の早期回復を図ります。
- 86 世界に誇れる自然・食・温泉・歴史などの優れた資源や世界遺産、基幹産業である農林水産業など鹿児島のポテンシャルを最大限生かし、長期滞在や体験型観光をはじめとする多様なニーズに対応し、世界に通用する観光地づくりを進めます。
- 87 「健康・癒やし・長寿」に役立つ資源である美しい自然・景観、多彩な温泉、個性ある歴史・文化、精巧な伝統的工芸品など＝「ウェルネス」を国内外に戦略的に発信しブランド化を進め、人・モノの交流拡大の原動力として幅広く活用していきます。
- 88 「鹿児島のウェルネス」を活用して、ワーケーション(仕事と休暇)というスタイルを提案し、多くの方々が訪れる取り組みを推進します。
- 89 錦江湾や桜島の美しい景観を臨む鹿児島本港区エリアについて、鹿児島市とも連携し、「来て見て感動するまちづくり」により、国内外から観光客を呼び込める拠点づくりを進めます。
- 90 SNSやホームページを活用して多言語による国内外への情報発信、多言語標識やWi-Fiの整備などインバウンド観光客も対象とした受入体制づくりを進めます。
- 91 国際定期航空路線の維持・拡充やマリンポートかごしまにおけるクルーズ船の受入環境の整備促進に取り組みます。
- 92 世界的に拡大しているeスポーツ大会やMICEなどの誘致を図ります。
- 93 全国2位を達成した農業生産額が更に伸びるよう、「鹿児島黒牛」「かごしま黒豚」「ばれいしょ」「マンゴー」をはじめとする農畜産物のブランド力を高め販路拡大を図るとともに、安定的に生産・出荷できる産地づくりと人材育成に取り組みます。
- 94 過去最高記録を続けている県産農林水産物の輸出については、「攻めの農林水産業」実現に向け、国や地域ごとに戦略的なプロモーション、トップセールスを展開して、更に拡大していきます。
- 95 販路拡大や生産体制の支援により「日本一のかごしま茶」を確立するとともに、有機抹茶の世界ブランド化などにより輸出拡大を図ります。
- 96 本格焼酎の文化を高めるとともに、海外展開を促進して、「世界の蒸留酒」となるよう取り組みます。
- 97 生産・流通の合理化などにより需要者のニーズに対応した県産材を低コストで安

定的に供給できる体制を推進し、県産材の競争力の強化を図ります。

- 98 公共建築物の木造・木質化、かごしま材を積極的に使用した家づくり、CLTやツーバイフォー工法部材の利用促進等により県産材の需要創出を図ります。
- 99 日本一のブリ・カンパチに代表される養殖業については、更なる安定的な種苗生産と技術開発と輸出拡大を図ります。

X 技術革新と力強い産業が生まれる鹿児島

- 100 中小企業の経営基盤の強化を図るため、創業から事業承継までのライフステージに応じて、資金調達、人材育成、研究開発等を支援します。
- 101 AIやIot等の先端技術を導入する取り組みやビッグデータの活用を支援し、中小企業の生産性向上や競争力の強化を図ります。
- 102 毎年継続している100件以上の起業や中小製造業者の新分野への進出、規模拡大などへの支援を行います。
- 103 企業立地の促進に努め、本県産業の高度化と就業機会の増大を図ります。
- 104 食品製造業者等の輸出拡大を図るため、HACCP等の基準を満たすために必要な施設整備を支援します。
- 105 6次産業化やかごしまの農林水産物認証制度(K-GAP)の取得拡大による県産品の付加価値の向上、AIやIotを活用したスマート農業や農地の整備や集積・集約化の推進などにより、「稼げる農林水産業」を実現します。
- 106 畜産経営体の収益性向上を図るため、畜舎や堆肥舎等の整備を支援します。
- 107 園芸産地の振興を図るため、集出荷施設や貯蔵施設の整備を支援します。
- 108 令和4年に開催される全国和牛能力共進会については、戦略的に出品対策に取り組み、連覇を果たし、「日本一」の鹿児島を確固たるものにします。
- 109 本県乳用牛の質の向上を図るため、改良増殖を支援します。
- 110 森林施業の集約化、林道や路網の整備、高性能機械の導入等を推進し、林業の生産性の向上、県産材の安定供給体制の構築を図ります。
- 111 台風や豪雨、赤潮、火山噴火など災害発生時には、引き続き、スピード感を持って対応し、生産者が経済的・精神的に苦境に陥らないよう即効性のある効果的な対策に取り組みます。

XI 自分らしく働ける鹿児島

- 112 新たに創設した「働き方改革」推進企業の認定制度の活用促進やアドバイザーを派遣するなど、企業の「働き方改革」を支援します。
- 113 出産などにより離職した女性の再就職したいという希望が叶うよう、就職に必要な知識の習得などを支援します。
- 114 人口減少社会を踏まえ、鹿児島で生まれ育った人や鹿児島で働きたい人が、地域を支える人財として活躍できるよう、各地域でニーズを踏まえた取り組みを支援するとともに、商工業、建設業、観光業など地域産業の振興を支える人財の確保・育成に努めます。
- 115 新規学卒者や若年者等の鹿児島への就職を促進するため、企業説明会や就職面談会の実施、就職情報Webサイト「かごJob」による情報発信などに取り組みます。
- 116 農林水産業の魅力発信や技術研修・就業相談の実施などにより、本県1次産業の担い手となる人材の確保・育成を図ります。
- 117 ベトナムをはじめとする外国人材が、県民と友好的な関係のもとに貴重な人財として本県経済を支えることができるよう、各国との更なる連携強化や新たな国からの受入強化に取り組んでいきます。
- 118 地域農業を牽引する女性農業者が更に活躍する機会を創出します。
- 119 農福連携について、マッチング支援などを行うことにより、障害者の就労促進と農業法人の働き手の確保を図ります。

XII 持続可能な行財政運営

- 120 本県を取り巻く社会経済情勢の変化を踏まえ、更なる行財政改革に取り組むため、改革の方向性などを示す新たな指針の策定に着手します。
- 121 本県の発展や県民福祉の向上に資する施策には、継続して積極的に取り組める行財政構造の構築に努めます。
- 122 「誰一人取り残さない」世界を実現するための国際目標であるSDGsの達成にもつながるよう、すべての県民が、県内どこに住んでいても明るい展望を持って安心して暮らせるような社会の実現に向けて、県民の皆さんと一緒に取り組みます。
- 123 新たな技術を活用するなど、業務の効率化に取り組み、スマート自治体の実現を目指します。

- 124 人口減少社会を前提に、民間活力の導入等も図りながら、組織や県の仕事のあり方を常に見直します。
- 125 社会経済情勢の変化に対応し、必要な改革に挑戦するような人材育成に努めます。
- 126 県公共施設等総合管理計画に基づき、公共施設等の管理を総合的かつ計画的に推進します。

「生まれてよかった、住んでよかった」そう思える鹿児島、
どこよりも幸せを実感できる鹿児島の実現に向けて、
皆さんと一緒に「元気な鹿児島」を創ります。

「け死んかぎい」走り続けます。